

1 ののみいけ 野々海池

【所在】栄村豊栄
【築造】昭和40年(1965年)
【管理者】野々海水利組合

戦後の昭和24年、130万トン蓄える水瓶の築堤と水路の開削は、住民自らの施工によるものでした。麓からの8km、標高差800mを人肩や牛馬により資材を運搬したり、山を貫く3ヶ所の水路トンネル(総延長668m)を開削する工事は難儀を極めました。これにより新たに90haの開田を果たし、開拓事業前に685俵だった米の生産が、昭和40年におよそ7倍の4,722俵になりました。



2 こたきせき 小滝堰

【所在】栄村堺
【築造】安永7年(1778年)
【管理者】栄村小滝集落

栄村誌に登場するのは227年前の安永7年です。当時、この地域は水不足で米の反収が低く村人が離村する状況となり、小滝の百姓衆を迎え戻すため、庄屋の島田三左衛門が、飯山藩主の許可を得て用水の開発を百姓衆と行いました。この開発は、飯山藩の直轄工事で実施され約10kmの水路を単年度にて完成させ、6ヶ所の開田のうち5ヶ所を百姓衆に1ヶ所を庄屋に分けることになりました。



7 ふくしましんでん たなだ 福島新田の棚田

【所在】飯山市瑞穂
【築造】江戸時代(1668年頃)
【保全団体】福島棚田保存会

眼下には緩やかに流れる千曲川、遠方には北信五岳を望む絶景の棚田です。江戸時代に飯山藩からの許可状により開田されました。映画「阿弥陀堂だより」(2002年公開・小泉堯史監督)のロケで使用された阿弥陀堂が残されており、多くの観光客が訪れています。2015年3月に北陸新幹線飯山駅が開業し、都心からのアクセスも便利になりました。



8 うわせぎ えんとうぶんすい 上堰の円筒分水

【所在】木島平村往郷
【築造】昭和36年(1961年)
【管理者】上堰管理委員会

樽川から取水している上堰を、サイフォンで馬曲川を渡し農業用水を配分しています。従来から上堰の水に権利を持つ高石堰と中村堰とで分水するため、昭和36年に円筒分水工が設置されました。分水率を中村堰58.75%、高石堰41.25%として配分しています。



3 おくやませき 奥山堰

【所在】野沢温泉村豊郷
【築造】明治22年(1889年)
【管理者】上ノ平土地改良組合

明治12年、奥山山からの水を平林村(野沢温泉村平林区)まで、21kmの水路を開削して水を引く新堰構想が、関口銀右衛門らによって立ち上がりました。村民の中には、山を掘り抜く180mの隧道工事に危ぶむ者もいましたが、私財を投入して取り組んだ銀右衛門らの懸命な努力の末、10年の歳月をかけて完成しました。奥山堰開削の功績を称え、國中平神社には記念碑が建立されています。



4 よこくらせき すがかわせき 横倉堰と須賀川堰

【所在】山ノ内町夜間瀬
【築造】横倉上堰 文久3年(1863年)
須賀川堰 明治17年(1884年)
横倉下堰 明治26年(1893年)
【管理者】夜間瀬かんがい排水事業組合

江戸時代末期、目下を流れる夜間瀬川に水利権のない夜間瀬村横倉地域は、干ばつに苦しんでいました。坂口稔兵衛(としべえ)他11人は、分水嶺を越えた雑魚川水系に水源を求め横倉上堰を開削し、同じ状況にあった須賀川の村も上堰の下段に須賀川堰(約17km)とさらに下段に横倉下堰(約11km)を開削しました。その後、3本の堰は統合され、米やリンゴ、ブドウの一大産地を支えています。



9 いまいせき 今井堰

【所在】中野市上今井
【築造】江戸時代(1660年代)
【管理者】中野市上今井区

鳥居川から取水した後、大倉で2分し蟹沢、上今井等を潤し、荒山地区を最下流とする総延長17kmの堰です。「用水の神様」と讃えられている飯山藩奉行「野田喜左衛門正満」が寛文年間(1660年代)に築造したと伝えられています。上今井諏訪神社では、五穀豊穡のための舞楽等の祭事が毎年行われており、この舞楽は長野冬季オリンピックの山ノ内会場で世界に披露したことで有名です。



10 はつかごうようすい 八ヶ郷用水

【所在】中野市
【築造】室町時代(1394~1428年)
【管理者】中野市八ヶ郷土地改良区

志賀高原の「大沼池」や、群馬県側のガラン沢を源とする「寒沢堰」の水が、いったん横湯川と角間川に流れ、これらが合流した夜間瀬川の松崎取水工から再び水を取り入れて、ここから6つの堰(更科堰、吉田堰、一本木堰、若宮堰、竹原堰、中野堰)に分かれ、さらに中野堰の下流で、小田中堰、西条堰に分水されることで8つの郷を潤しています。



5 ぬま いけ 沼の池

【所在】飯山市旭
【築造】文化2年(1805年)
【管理者】長野県下水内中部土地改良区

元々は火山灰に覆われた窪地に水がたまった天然の池でしたが、江戸時代に飯山藩の新田開発により、農業用ため池となりました。神秘的な景色は、日本画家・東山魁夷の作品「静映」のモデルとしても知られ、「希望湖(のぞみこ)」とも呼ばれています。池の周囲は「信越トレイル」のコースとなっており、ミズバショウ群生地・ブナの巨木など四季を通じて自然を楽しむことができます。



6 たいらはつかごうせき いしどよ 平八箇郷堰【石樋】

【所在】飯山市常盤
【築造】江戸時代(1666年頃)
【管理者】飯山市立常盤小学校(長野県下水内中部土地改良区)

飯山藩主松平氏に仕えた役人で「用水の神様」と讃えられている野田喜左衛門正満の指揮のもとに開削されました。水源を県境の開田山脈中の茶屋池にもち、26kmにおよぶ水路はいくつもの集落、川を越え、水沢平の村々(飯山市常盤)に水を運んでいます。川を渡すために造られた当時の石樋が、飯山市常盤小学校に移築保存されており、開削当時の苦勞を今に伝えています。

